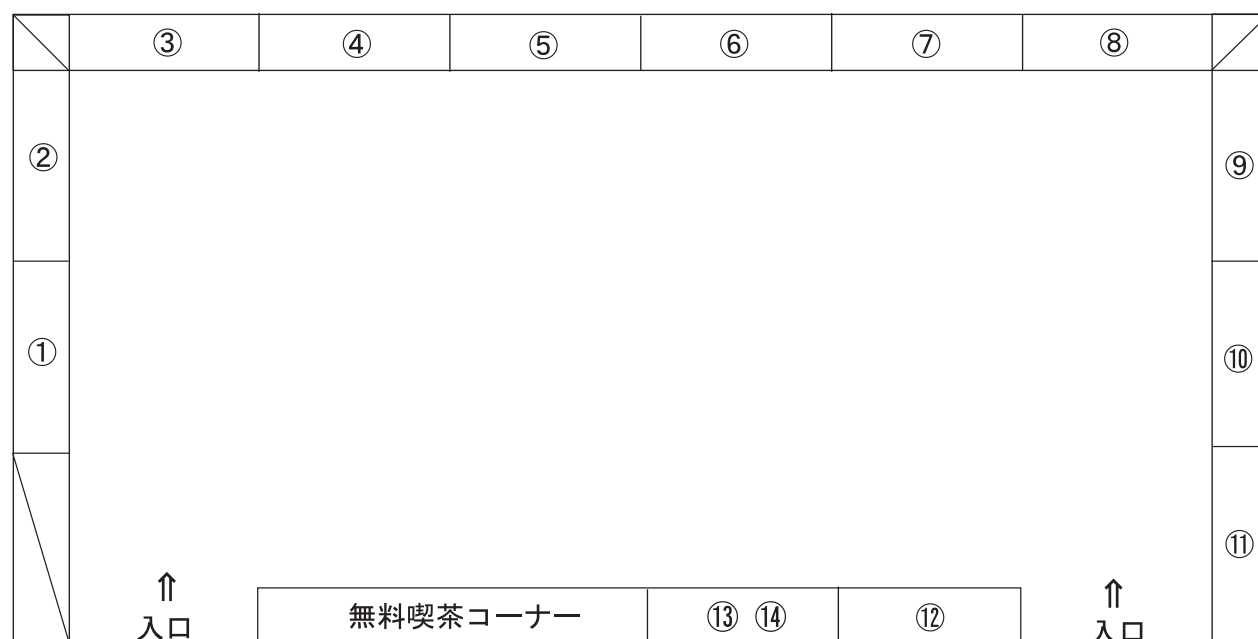


パネル展示会 会場配置図
(会津稽古堂 3階 第2・3研修室)



コンクリート技術大会 (会津)

実施要領

開催日程：2011年10月6日(木)～7日(金)

会場：福島県会津若松市

文化センター(城東町14-52 電話0242-26-6661)

会津稽古堂(栄町3-50 電話0242-22-4700)

- ① (株)リバティ 兵庫県神戸市長田区浪松町5-1-19 (Tel.078-733-8080)
- ② (株)重松製作所 東京都北区西ヶ原1-26-1 (Tel.03-6903-7519)
- ③ レコサール工業会 山形市富神台19 東栄コンクリート工業(株)内 (Tel.023-643-1144)
- ④ (株)篠崎 札幌市北区篠路三条1-3-18 (Tel.011-772-5425)
- ⑤ 日建工学(株) 東京都新宿区西新宿6-10-1 (Tel.03-3344-6081)
- ⑥ 花王(株) 東京都墨田区文化2-1-3 (Tel.03-5630-7653)
- ⑦ (株)フローリック 東京都豊島区池袋2-52-8 (Tel.03-5960-6914)
- ⑧ 国立大学法人熊本大学 熊本市黒髪2-39-1 (Tel.096-342-3534)
- ⑨ タケモトデンキ(株) 大阪市淀川区田川3-5-11 (Tel.06-6300-2121)
- ⑩ (株)マルイ 大阪府大東市御領1-9-17 (Tel.072-869-3201)
- ⑪ エルスエンジニアリング(株) 神奈川県厚木市船子152 (Tel.046-226-8267)
- ⑫ (社)北陸建設弘済会 新潟市江南区亀田工業団地2-3-4 (Tel.025-381-1882)
- ⑬ (株)セメント新聞社 東京都中央区京橋3-12-7 (Tel.03-3535-0621)
- ⑭ 日本コンクリート技術(株) 東京都墨田区両国4-38-1 (Tel.03-5669-6651)

主催：日本コンクリート技術株式会社，株式会社セメント新聞社

協賛：日本コンクリート工学会東北支部・四国支部，セメント協会，プレストレスト・コンクリート建設業協会，日本砕石協会，日本砂利協会，石灰石鉱業協会，コンクリート用化学混和剤協会，土木学会関東支部，土木学会新潟CEG研究会，全国コンクリート圧送事業団体連合会，日本建設機械工業会コンクリートプラント部会，新世代PCA工業会

【主催者あいさつ】

「コンクリート技術大会(会津)」は、東日本大震災の復興支援をコンクリート技術者の観点からささやかでも促進できればと考え、緊急開催を実施することとしました。通常、技術大会の開催には準備期間として1年以上を必要とします。本大会は7月に開催を決定し、企画、計画、準備を短期間に行い、今日に至りました。このような厳しい条件にも係らず、10月1日現在、参加申込みが300名を超え、北海道から九州と日本全国から多数の皆様が会津の地へ足を運ばれることになりました。これはコンクリートに関連する皆様方の熱い思いの表れと感謝申し上げます。

本大会は大震災の復旧・復興へ向けたコンクリート技術の発信の場として、10月6日(木)にわが国のコンクリート界を代表する長瀧重義先生(東京工業大学名誉教授)、丸山久一先生(長岡技術科学大学教授)の特別講演から始まります。10月7日(金)午前には岩城一郎先生(日本大学工学部教授)、久田真先生(東北大学教授)、西川和廣所長(国土交通省国土技術政策総合研究所)、清宮理先生(早稲田大学教授)の招待講演が行われます。同日午後には2会場に分かれて17の投稿論文の発表が行われます。震災復旧・復興に関する幅広い内容の論文を、多目的ホールと研修室5・6に分かれて討議されます。特に、研修室5・6は年齢40歳以下の若手技術者に発表を限り、熱い議論と若手コンクリート技術者の強い連携の場に活用されることを期待しております。

今までに地方都市では例のないコンクリート技術大会が開催されることに理解いただき、多数のご賛同を頂きました皆様に感謝申し上げます。

日本コンクリート技術(株) 篠田 佳男
(株)セメント新聞社 猪熊 和子

10月6日(木) 特別講演会 (文化センター, 定員450人)

- 14:05~15:15 東京工業大学 長瀧 重義名誉教授
「復旧・復興へ向けた新しいコンクリート技術の取り組み」
15:30~16:40 長岡技術科学大学 丸山 久一教授
「大震災の被災状況と今後の課題」

10月7日(金) 技術講演会(会津稽古堂)

震災復旧・復興技術Ⅰ 多目的ホール(1階, 定員200人)

- 9:30~10:00 日本大学工学部 岩城 一郎教授
「福島県におけるインフラの長寿命化のための方策について」
10:00~10:30 東北大学大学院工学研究科 久田 真教授
「コンクリート関連の学協会の取り組みについて」
10:30~11:00 国土交通省国土技術政策総合研究所 西川 和廣所長
「東日本大震災の復旧・復興～国総研の議論から」
11:00~11:30 早稲田大学理工学部 清宮 理教授
「東北地方太平洋沖地震での港湾・海岸施設の被害と復旧方針」

震災復旧・復興技術Ⅱ

(13:00~16:30)

【多目的ホール 1階】

- ◆13:00~14:40 震災復旧・復興(構造)／座長:丸屋 剛
01 ステンレス鉄筋を補強材としたPCa埋設型枠の開発／日本コンクリート技術(株) ○河野 一徳・篠田 佳男
02 常温硬化型UFCによるせん断破壊したRC部材の補強に関する検討／(株)大林組 ○大野 了・佐々木 一成・石関 嘉一
03 地中鉄筋コンクリート構造物の耐震補強技術 ー後施工プレート定着型せん断補強鉄筋の適用範囲の拡大ー／成和リニューアルワークス(株) ○岡本 晋・福浦 尚之(大成建設(株))・新藤 竹文(同)・丸屋 剛(同)
04 RC製地下構造物のせん断耐荷力不足に対する鉄筋差込による耐震補強方法／早稲田大学理工学部社会環境工学科 ○清宮 理
05 津波対策用人工地盤／プレストレスト・コンクリート建設業協会 ○平野昌紀

◆14:50~16:30 震災復旧・復興(材料)／座長:栗田 守朗

- 06 タブレット端末を用いた維持管理データベースの試作について／長岡工業高等専門学校 ○井林 康
07 環境負荷低減のための高炉セメントコンクリートに関する検討／住友大阪セメント(株) ○鈴木 康範・齊藤 尚・西 元生・小林 哲夫
08 薄板モルタル供試体によるマイクロ塩害環境評価の可能性に関する検討／新潟大学 ○佐伯 竜彦・能勢 陽祐(JR東日本)・菊地 道生(新潟大学大学院)
09 石炭灰を多量に用いた硬化体による人工地盤築造技術／ハザマ ○福留 和人・斉藤 栄一・坂本 守・井手元 高行(エコアッシュ)・長 稔(同)
10 岩手県技術士会・チーム復興の取り組みについて／岩手県技術士会会員 ○袴田 豊

【研修室5・6 3階】

- ◆13:30~16:30 耐震復旧・復興(若手技術者)／座長:宮里 心一 網野 貴彦
011 壁状構造物の温度ひび割れ低減工法の開発・実用化／日本コンクリート技術(株) ○野島 省吾・篠田 佳男
012 鉄筋コンクリートの腐食モニタリング／金沢工業大学 ○宮里 心一・平石 陽一(倉敷紡績)
013 新潟県における民官学の連携による橋梁の維持管理への取り組み／長岡技術科学大学 ○田中泰司・井林 康(長岡工業高等専門学校)・陽田 修((株)大石組)・丸山 久一(長岡技術科学大学)・篠田 佳男(日本コンクリート技術(株))
014 UFCパネル接着によるRC部材の補強方法に関する検討／太平洋セメント(株) ○川口 哲生・河野 克哉・田中 敏嗣・森川 英典(神戸大学大学院)
015 T型鋼板によるRC面部材のせん断補強性能および施工性に関する実験的検討／清水建設(株) ○吉武 謙二・前田 敏也・栗田 守朗
016 塩化物を含む再生骨材Lを用いたコンクリートの性状及び再生細骨材中の塩化物量測定に関する一検討／東亜建設工業(株) ○網野 貴彦・羽瀧貴士
017 ステンレス鉄筋を用いた高機能RC部材の開発／日本コンクリート技術(株) ○佃 有射・篠田 佳男